

# 青森市議会 私学の学費負担軽減を求める意見書を採択 その背景は…

12月26日青森市議会において「私立高校における教育費負担の軽減を求める意見書」が全会派一致で採択されました。この報告に青森県私学をそだてる会事務局も驚きを隠せませんでした。この背景には、今年度の「私学をそだてる会」の取り組みが大きく反映していました。

内閣総理大臣 安倍晋三 様  
文部科学大臣 林 芳正 様  
衆議院 議長 大島理森 様  
参議院 議長 伊達忠一 様

## 私立高校における教育費負担の軽減を求める意見書

高校生の3割を超える凡そ120万人の生徒が私立高校に通い、私学は教育における多様なニーズに応えると共に、教育機関として大きな役割を果たしています。しかしながら、その教育条件整備等の多くは保護者の学納負担に任されています。

2010年度から実施され2014年度に加算支給額と対象世帯を拡大した「就学支援金制度」と、授業料以外の「奨学のための給付金」により学費の公私間格差は一定の是正がなされて来たところであります。

高校の授業料は現在、年収約910万円未満の世帯を対象に、国からの就学金が支給されており、公立高校は実質無償化されています。

一方、私立高校でも国からの就学支援金が支給されているものの、授業料が平均で年間約40万円に上り、家計に大きな負担となっています。現状では私立高校に通う生徒の凡そ22%、4人から5人に1人は年収350万円未満の低所得世帯であります。

家庭の経済的状況により、子どもたちの学校選択の幅が狭まることがなく、また私学に通う生徒・保護者の教育費の公私間格差をなくすため負担軽減がされるよう、私立高校への就学支援制度の拡充を強く求めるものであります。

### 記

- 1、就学支援金制度を拡充して、公立高、私立校の教育負担の格差をなくすこと。
- 2、就学支援金制度を拡充して、低所得世帯の負担軽減になる制度に組み替えること。
- 3、私立高校授業料の無償化の際、都道府県の就学支援費補助は廃止ではなく、教育環境の改善に充てること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

青森市議会 平成29年12月26日

## 報告は突然の電話から

昨年末12月28日、「私学をそだてる会」事務局へ公明党山本武朝(やまもと たけとも)青森市議会議員より電話が入りました。「青森市議会にて、左の意見書が全会派一致で採択された」という内容でした。お礼はお伝えしたものの、青森私教連、私学をそだてる会も青森市に意見書を要請している案件はありませんでした。名刺交換もしていない市議からの電話に、「PTAや校長会等、他の団体が要請した件を間違えて連絡してくださったのだろう」と判断していました。

## 私学の実情を聴き 議員自ら発議!! 「議員への訴え」の意義が現れる

1月28日に開催した「青森私学のつどい」に出席された公明党伊吹県議にこの件を伝えたと、真相が判明。「私学をそだてる会」事務局は、公明党県議市長村議団から請われて、11月に公明党青森県本部にて私学助成運動の意義と青森県の私立高校生がおかれている現状を報告しました(ニュース30号33号既報)。この際、同席していた山本市議が、「これはなんとかしなければならぬ」という思いを持ち、会派で文案を作成し青森市議会へ議員発議したというのが真相でした。

「そだてる会」からの要請がない中で、私学助成拡充について、議員が自発的に今回のような動きをしてくれたことに事務局も大変感動したとのこと。さらに全会派一致での採択です。青森の取り組みの大きな成果です。私学の学費実態を議員に報せていくことの重要性が確認されます。

## 請願採択をめざして 各都道府県 紹介議員獲得の動きを強めよう!!

# 1月末中間集約報告 9都道府県からで 2/4時点、前年同期比95.9%へ 全都道府県の最後の最後まで奮闘を期待 1月末までの集約数を確認し、 残り10日間、出来る限りの方法を尽くして、 前年を上回る集約数を実現させましょう!!

本日2/5締切で1月末集約数の本部への報告を求めています。現時点では、北海道、岩手、東京、愛知、岐阜、島根、香川、高知、長崎の9都道府県からの報告に止まっていますが、5,186,524筆という到達点です。12月末まで同期比で前年を超過していた集約数が、前年の95.9%となっています。

そうした中ではありますが、福島、石川、佐賀、熊本、大分に続いて、**岩手が昨年の集約数を超過**し、7万筆を突破しました。その岩手1,700筆をはじめ、愛知6万9000筆、東京4万6000筆、高知2,900筆、岐阜1,800筆、香川320筆など、報告のあった都道府県は、すべて集約数を伸ばしています。取り組みば前進する、という展望が開けています。

どの府県においても「1月末の集約数」を必ず確認し、本部へ報告してください。

その上で、今週の機関会議等で残り10日間の取り組みについて具体的な方針を立て、全学園での奮闘を呼びかけましょう。

2月15日(木)提出集会まで、最後まで前年を超過することをめざして、全国で奮闘していきましょう。

## 紹介議員 応諾議員数 2/4現在

8会派+無所属 のべ93(実数91)名

茨城(8/6)、高知(5/3)で昨年数を突破!!

埼玉(11)、大阪(13)で昨年数へ

自民30(衆23参7)、民進5(衆1参4)、立憲14(衆12参2)、公明4(衆2参2)、希望9(衆)、共産16(衆8参8)、自由2(参)、社民4(衆2参2)、無所属7(衆6参1)